

平成29年度事業報告について

第1 事業推進の基本方針

北海道の酪農畜産は、豊かな土地資源を背景に、生産者をはじめ関係者の不断の努力により、厳しい気象条件を克服しつつ今日まで発展し、安全・安心な食料の安定供給のみならず、地域の経済や雇用、更にはコミュニティーを支える重要な基幹産業として大きな役割を果たしてきた。

しかし、近年、担い手の高齢化や後継者が不足する中、離農に歯止めがかからず、生産基盤の脆弱化が懸念されている。

また、TPP11や日欧EPAなど国際貿易交渉が進展し、肉類や乳製品など重要品目の国境措置について、生産者の先行きに対する不安は大きなものとなっている。

このような中、国は、国際化対策の一環として畜産クラスター事業や酪農経営体生産性向上緊急対策事業などを措置し、地域が一体となって生産力や収益力の向上を図る取組みを支援している。

本協会としても、道内の酪農畜産の安定した経営基盤の確立に資するため、関係機関・団体と緊密な連携を図りながら、引き続き畜産クラスター構築に向けた取組みなどを積極的に支援するとともに、畜産経営の改善指導や家畜の登録改良をはじめとする生産振興の取組みを一層充実・強化して、各般の事業を効果的かつ効率的に実施した。

第2 事業の実施状況

1 経営改善指導事業

活力のある安定した畜産経営を育成・確立するため、経営診断の実施、研修会の開催及び各種情報提供等による経営改善指導を行った。

(1) 畜産経営技術指導事業（地方競馬全国協会/補助 21,728 千円）

畜産の担い手育成・確保に向けた体制の整備・強化を図り、各般の畜産振興対策の効果的推進に努めた。

(2) 強い農業づくり事業：畜産経営技術高度化対策（北海道/補助 1,843 千円）

新たな畜産の担い手や地域の中核となる畜産経営を支援するため、経営診断結果を基に経営改善や生産技術指導と経営管理等総合的な支援を行った。

経営診断・分析支援 18 件

(3) 酪農経営支援システム管理運営事業

対象農家について、農協・関係機関よりデータを収集し、その分析結果を営農指導等を支援するための資料として農協に提供した。

利用農協数 26 農協 分析件数 1,458 件

(4) 畜産特別資金等推進指導事業（中央畜産会/補助 32,850 千円）

畜産特別資金及び畜産経営維持緊急支援資金の借受者に対する経営改善指導のため、関係機関団体と連携して、借受者に対する計画作成指導、計画達成指導の実施及び融資機関等の指導体制確立のための支援指導を行った。

① 都道府県支援協議会の開催

- ・ 協議会活動の企画・調整等 9 回
- ・ 経営事例調査 37 件

② 融資機関への指導・助言

- ・ 研修会等 4 回
- ・ 協議会による巡回指導 4 箇所

③ 経営改善計画作成・見直し及び達成指導

- ・ 計画作成指導等 265 件
- ・ 濃密指導（月次モニタリング） 6 農協・19 件

2 畜産生産振興事業

畜産の生産振興及び生産基盤の強化に資するため、次の事業を行った。

(1) 強い農業づくり事業：和牛生産基盤振興事業

（北海道・ホクレン農協連・ジェネティクス北海道/補助他 33,184 千円）

高能力繁殖雌牛の保留やその後継牛の確保による和牛生産基盤を維持拡大するため、生産者をはじめ、関係機関・団体が一体となって、優良な道産種雄牛を活用した繁殖基盤強化、地域生産組織の技術力向上に資する組織活動の強化及び自給飼料を活用した和牛生産に向けた取り組みに対し支援を行った。

① 道産種雄牛を活用した和牛生産基盤強化

- ・ 「勝早桜 5」交配奨励 2,500 頭 1 頭当たり：2 千円
- ・ 現地指導、検討会 2 回（平取町、十勝地区）

② 地域生産組織の活動強化 12 集団

③ 自給飼料を活用した和牛生産支援 2 地区

④ 高能力繁殖雌牛活用推進 209 頭 1 頭当たり：15 千円

⑤ 新規種雄牛早期市場評価推進対策 25 頭 1 頭当たり：30 千円

⑥ 道内肥育推進対策

- ・ 道内出荷仕向け導入奨励 85 頭 1 頭当たり：50 千円
- ・ 道内出荷仕向け増頭奨励 92 頭 1 頭当たり：120 千円
- ・ 枝肉共励会、肥育研修会開催 4 回

⑦ 牛肉の食味に関する共同研究

- ・ 画像解析技術による脂肪交雑形状の指標評価活用法の開発 帯広畜産大学
- ・ 脂肪交雑形状と官能評価との関連性 釧路短期大学
- ・ 超音波診断装置による枝肉形質の発育様相に関する遺伝的特性評価 畜産試験場

(2) 肉用牛経営安定対策補完事業（農畜産業振興機構/補助 215, 103 千円）

① 肉用牛生産基盤強化対策事業

生産者集団等が行う生産基盤強化に資する取組みに対し支援を行った。

- ・繁殖雌牛の増頭に対する助成

育種価等要件達成 1,609 頭 1 頭当たり：80・100 千円

- ・肉用牛ヘルパー活動に対する助成（1/2） 13 利用組合

- ・簡易牛舎の整備に対する助成（1/2）

新築・増築、改造のための資材・器具機材購入 46 件

② 地域の特色ある肉用牛振興対策事業

生産者集団等が行う地方特定品種の生産基盤の維持強化への取組みに対し支援を行った。

- ・褐毛和種の肥育牛計画出荷に対する対策助成 53 頭 1 頭当たり：15 千円

- ・離島子牛の島外家畜市場出荷に対する助成 72 頭 1 頭当たり：3.8 千円

- ・日本短角種の牛肉生産振興等に対する助成

(3) 畜産・酪農生産力強化対策事業 [A I・E T 事業]（中央酪農会議/委託 9,330 千円）

和子牛の生産拡大と優良な乳用種後継牛の確保により、畜産・酪農生産基盤を強化する事業の推進指導を行った。

事務取扱 91 農協 補助金額 655,508 千円

(4) 肉牛改良推進事業

和牛改良を推進するため、道内の黒毛和種のデータを分析し、育種改良及び繁殖管理の改善を目的とした指導及び情報提供のほか、道内で収集された枝肉情報と全国枝肉データベース事業による枝肉情報を用いて育種価を算定し、繁殖成績における子牛生産指数の育種価と併せて、関係団体及び生産者への情報提供を行った。

また、優良な家畜の展示評価並びに肉牛の枝肉展示評価を通じて、飼養管理技術や改良増殖技術の向上を図るため、共進会・共励会の後援や協賛を行うとともに、地域の生産者や技術者対象の研修会等を開催し、本道の特色ある雌牛集団の形成や改良に対する普及啓発を行った。

① 肉牛改良推進のための研修会等の開催

- ・和牛技術研修会 全道 5 地区巡回指導
- ・和牛振興委員研修会 1 回（札幌市）
- ・和牛生産農家後継者研修会 1 回（札幌市）
- ・和牛女性部研修会 2 回（音更町・札幌市）

② 家畜生体肉質装置を用いた肉質診断の実施

③ 家畜共進会、肉牛枝肉共励会の審査・後援・協賛等 53 回

④ 全国和牛登録協会主催の産肉能力検定事業の立会

- ・直接検定（開始・終了） 4 回

⑤ 家畜改良事業団主催の現場後代検定種雄牛枝肉調査の立会

- ・現場後代検定（前期・後期） 13 回

⑥ 協会のホームページによる肉牛改良情報の提供 21,135 件（アクセス件数）

⑦ 和牛経営定点調査事業 19 戸

⑧ 和牛育種事業強化支援対策

- ・ びらとり和牛育種組合
- ・ 十勝和牛育種推進部会

(5) 第11回全国和牛能力共進会事業

- ① 北海道対策本部の運営
- ② 北海道最終選抜会（肉牛の部 6/24, 種牛の部 6/29）
- ③ 第11回全国和牛能力共進会最終比較審査（宮城県仙台市 9/7～11）
 - ・ 出品頭数 23 頭（種牛 15 頭, 肉牛 8 頭）
 - ・ 褒賞内容 優等賞 6 点, 1 等賞 3 点, 2 等賞 1 点, 団体賞（総合）6 席

(6) 肉用種雄牛管理事業（貸付先/301 千円）

肉用牛経営の体質強化に資するため、北海道が所有する肉用種雄牛を現地に配置し、その管理を委託した。

[管理委託頭数]

(単位：頭)

区 分	前年度末	返納払下	年度末	貸 付 先
黒毛和種	2	1	1	ホクレン稚内・十勝農協連
アンガス種	3	3	0	JA 北オホーツク（雄武町）
計	5	4	1	

(7) 豚登録改良事業（生産者/644 千円）

豚の登記・登録を実施することにより、品種の証明を行い、育種改良及び遺伝子能力評価のデータを効率的に収集した。また、登録規程の周知を図るため、登録審査員を対象とした講習会等を後援するとともに、豚枝肉展示評価を通じて飼養管理技術及び改良増殖技術の向上を図るため、枝肉共励会を後援した。

[登録・証明件数]

(単位：件・%)

区 分	子豚登記	種豚登記	一腹記録証明
件 数	211	143	173
前年度対比	92.1	52.4	102.4

(8) 強い農業づくり事業：めん羊等推進事業（北海道/補助 107 千円）

優良な系統の普及啓発を推進するとともに、めん羊の飼養管理技術及び改良増殖技術の向上を図るため、研修会を開催した。

研修会開催 2 回（音更町、札幌市）

(9) めん羊登録改良事業（生産者/1,652 千円）

めん羊の血統登録を実施し、品種の証明及び育種改良を推進するとともに、出生確認証明を発行することにより個体識別を促進し、円滑な改良・増殖を推進した。

〔登録・証明件数〕

(単位：件・%)

区 分	登 録		証 明	
	血 統	予 備	出 生	血 統
件 数	659	16	2,101	-
前年度対比	120.7	80.0	104.1	-

(10) 酪農畜産関係組織の事務局の運営

生産振興・消費拡大・ブランド化の推進等のため、畜産生産者等が組織した各種協議会の事務局を担当し、生産者の支援を行った。

① 北海道和牛振興協議会

黒毛和種の生産者で構成され、和牛生産基盤の充実と経営安定に資する活動を行うとともに、和牛の改良増殖を推進するため、第11回全国和牛能力共進会へ参加した。

② 北海道和牛生産戦略会議

本道における和牛の産地形成の確立と生産振興の効果的な推進を図るため、道内関係者と連携を図りながら和牛振興への取組みを行った。

③ 北海道肉用牛生産者協議会

肉牛を飼養する者、賛同する個人及び団体で構成され、肉牛の振興に資する各種の活動を行った。

④ 北海道産牛肉消費拡大強化対策実行委員会

道内の肉牛生産者自らが取組む道産牛肉消費拡大事業に、関係機関と連携し積極的に支援を行った。また、各種イベント等を企画し、道産牛肉のPRに努めた。

⑤ 北海道あか牛振興協議会

あか牛を飼養する者、賛同する個人及び団体で構成され、北海道におけるあか牛の生産振興に資する取組みを行った。

⑥ 北海道短角牛振興協議会

日本短角種を飼養する者、賛同する個人及び団体で構成され、北海道における日本短角種の生産振興に資する取組みを行った。

⑦ 北海道めん羊協議会

めん羊を飼養する者、賛同する個人で構成され、北海道におけるめん羊の生産振興に資する取組みを行った。

⑧ 北海道指定種豚場協議会

道内で種豚を生産する個人等で構成され、優良種豚の確保・改良を促進し、養豚の生産振興に資する取組みを行った。

⑨ 北海道養鶏会議

鶏を飼養する者、賛同する企業及び団体等で構成され、北海道における養鶏の生産振興に資する取組みを行った。

⑩ 北海道畜産技術連盟

道内の関係機関・団体と連携を図りながら、畜産技術の普及啓発のために畜産関係新技術発表会の開催などの取組みを行った。

⑪ 北海道地方公営競馬振興協議会

道内における地方競馬と馬事畜産の振興及び普及啓発を図るための支援を行った。

⑫ 北海道自給飼料改善協議会

道内における自給飼料基盤の向上及び改善のための調査や研修会の開催などの取組みを行った。

3 補填金交付等事業

肉用牛肥育経営安定特別対策事業（農畜産業振興機構/補助他 104,753 千円）

肥育牛経営の安定を図るため、農畜産業振興機構からの補助金及び肥育牛契約生産者からの積立金により肥育安定基金を造成し、牛枝肉価格等の変動により肥育牛経営の収支が悪化した時に粗収益と生産費の差額に対する補填を行った。

また、平成 23 年度において肉用牛肥育生産者に交付した緊急支援金の返還に関する業務を行った。

1) 基金造成及び補填金交付実績

①積立金単価〔平成 28・29 年度〕

(単位：円)

品種区分	H28 年 4 月～H29 年 3 月			H29 年 4 月～H30 年 3 月		
	生産者	補助金	合計	生産者	補助金	合計
肉専用種	10,000	30,000	40,000	6,000	18,000	24,000
交雑種	25,000	75,000	100,000	19,000	57,000	76,000
乳用種	26,000	78,000	104,000	22,000	66,000	88,000

②基金造成実績〔平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月造成分〕

(単位：円)

品種区分	基金造成額			
	生産者積立金	補助金	運用益	計
肉専用種	158,394,000	442,458,000	932,472	601,784,472
交雑種	907,122,000	2,512,764,000	3,640,630	3,423,526,630
乳用種	2,470,050,000	6,847,962,000	6,739,452	9,324,751,452
合計	3,535,566,000	9,803,184,000	11,312,554	13,350,062,554

③補填金単価〔平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月販売分〕

(単位：円)

品種区分	販売年月（※交付は販売の翌々月）											
	H29.4	H29.5	H29.6	H29.7	H29.8	H29.9	H29.10	H29.11	H29.12	H30.1	H30.2	H30.3
肉専用種	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1,900	-	-
交雑種	10,800	48,300	56,600	64,400	81,000	73,500	72,700	60,000	30,000	50,100	72,300	84,600
乳用種	55,200	39,900	39,400	39,900	45,900	39,200	35,300	23,500	21,200	29,000	31,700	28,500

④補填金交付実績〔平成29年4月～平成30年3月販売分〕

(単位：頭・円)

品種区分	対象頭数	補填金額		計
		積立金	補助金	
肉専用種	1,688	801,325	2,405,375	3,206,700
交雑種	46,527	679,103,850	2,038,497,450	2,717,601,300
乳用種	112,426	999,675,025	3,011,175,975	4,010,851,000
合計	160,641	1,679,580,200	5,052,078,800	6,731,659,000

2) 緊急支援金返還実績

(単位：戸・千円・%)

区分	平成30年3月31日	
	戸数	金額
交付金額 A	322	9,320,300
全額返還 B	317	9,230,600
一部返還 C	5	43,337
返還額合計 D = B+C	—	9,273,937
回収不能額 E ※	1	24,388
未返還額 A-D-E	4	21,975
返還率 (D+E)/A	99.8	

※ 自己破産した対象者の未返還金残高

4 普及啓発推進事業

消費者の畜産に対する理解の促進を図るため、消費者に対しPR活動を行った。

(1) 畜産関係団体調整機能強化事業（中央畜産会/委託 500千円）

地方競馬の振興に資するため、本協会や北海道地方公営競馬振興協議会が主催する競馬ファン対策イベントに対する支援を行った。

イベント支援：3回（帯広市、日高町門別）

(2) ばんえい競馬振興事業（馬事畜産振興協議会/委託 500千円）—新規—

地方競馬の収益金の活用方法を広くPRするため、馬事畜産振興協議会が主催するイベントに対する支援を行った。

イベント支援：1回（帯広市）

5 肉牛登録推進事業

子牛登記・登録を実施することにより、正確な血統を証明し、品種としての信頼性の向上を図るとともに、地域和牛集団の確立を推進した。

また、生産者の登録審査の意義に対する理解を深め、生産基盤の充実強化を図るため、地域技術員の審査技術の指導を行った。

〔登記・登録件数〕

(単位：件・%)

区 分		子牛登記	登 録
黒毛和種	件 数	66,019	9,876
	前年度対比	104.1	114.7
褐毛和種	件 数	716	103
	前年度対比	91.5	99.0
日本短角種	件 数	193	44
	前年度対比	83.5	56.4
外国種	件 数	67	59
	前年度対比	104.6	125.5

〔登録審査員の養成及び技術向上〕

登録窓口別審査研修及び子牛検査委員資格認定研修会 3回(日高・根室・上川)

6 機械施設リース事業

酪農畜産経営の体質強化に資するため、施設・機械の借受、貸付を実施するとともに施設の有効利用を促進するための指導を行った。

〔取扱実績〕

(単位：台・千円・%)

区 分		台 数	金 額	前年度対比 (金額)
協会有リース	・再生バルククーラー ・新品バルククーラー他	21	117,331	127.2
畜産近代化リース	・自給飼料生産利用機械施設 ・生乳生産合理化施設 ・畜産環境改善機械施設	46	382,814	188.1
畜産環境整備機構	・経営リース ・調査リース	10	87,123	94.1
合 計		77	587,268	151.2

7 受託事業等

関係機関・団体からの受託等により、畜産に係る調査業務等を行った。

(1) 動産担保融資支援事業(日本政策金融公庫・生産者/委託7,974千円)

日本政策金融公庫、十勝畜産農業協同組合と締結した「肉用牛ABL協定」等に基づき、肉用牛及び乳用牛を担保に運転資金を融資した農家についてモニタリングを行った。

モニタリング

12件

(2) 公庫資金活用推進事業（日本政策金融公庫/委託 350 千円）

公庫資金が地域の実態に応じて、総合的かつ計画的に活用されるよう、地域農業の実態把握と問題解決に向けた研修会や指導資料の作成を行った。

研修会の開催 2回（札幌市）

(3) 畜産動産担保融資活用推進事業（農畜産業振興機構/補助 2,967 千円）

地域における畜産ABL導入調査のほか、モデル実証農家の経営診断や経営モニタリング体制の構築、貸倒れ時に想定する家畜の飼養・処分体制の構築等のための検討会等を行った。

地域検討会の開催 3回（美深町・幕別町・帯広市）

実証調査件数 12件（十勝管内等）

(4) 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業〔機械導入事業〕（中央畜産会/委託 18,117 千円）

畜産クラスター協議会を対象とした機械導入事業の参加要望書の取りまとめなどの推進業務を行った。

配分件数 86 協議会 補助金額 7,517,117 千円

(5) 酪農経営体生産性向上緊急対策事業〔楽酪事業〕（中央畜産会/委託費 5,415 千円）—新規—

楽酪応援会議を対象とした労働負担軽減事業の参加要望書の取りまとめなどの推進業務を行った。

配分件数 62 会議 補助金額 1,861,072 千円

(6) 畜産クラスター全国推進実態調査事業（中央畜産会/委託 3,397 千円）

畜産クラスターに係る取組みを全国で推進するため、先進的な経営等を対象に経営内容に係る調査を行った。

調査件数 36 件（酪農経営 35 件・交雑種肥育経営 1 件）

(7) 畜産クラスター全国推進改善効果事業（中央畜産会/委託 442 千円）—新規—

畜産クラスター事業を活用して機械導入及び施設整備を行った経営体を対象にその効果に係る調査を行った。

調査件数 3 件（酪農経営 3 件）

(8) 畜産経営における女子力発揮推進事業（中央畜産会/委託 2,742 千円）

酪農畜産に携わる女性のグループ化を目的に勉強会や他地域との交流会を行った。

勉強会開催 2回（中標津町）

他県との交流会の開催 1回（岡山県）

(9) 女性・リタイヤ世代等新規就農者定着推進事業（中央畜産会/委託 440 千円）—新規—

搾乳ロボットを導入していない酪農経営を対象として、経営状況、搾乳ロボットの導入希望の有無、導入の目的、導入に向けての課題等のアンケート調査を実施した。

調査件数 44 件

- (10) 農業経営サポート調査事業（中央畜産会/委託 750 千円）
日本政策金融公庫による農家への資金融資等に係る農家の経営計画作成、経営課題の把握や解決策の提案などを行った。
実施件数 13 件（計画作成 6 件・高度経営支援 1 件等）
- (11) 乳用種初生牛調査事業（中央畜産会/委託 1,900 千円）
酪農経営における乳用種初生子牛の生産費の実態を調査した。
調査件数 95 件
- (12) 軽種馬経営実態調査業務（中央畜産会/委託 795 千円）
軽種馬の生産振興に資するため、軽種馬経営における販売産駒 1 頭当たりの生産費用等の調査を行った。
調査件数 6 件（新ひだか町静内、三石）
- (13) 草地難防除雑草駆除等緊急対策事業 [H27 年度分]（日本草地畜産種子協会/委託 279 千円）
自給飼料基盤に立脚した安定的な畜産経営の実現を図るため、難防除雑草の繁茂した生産性の低い草地から高位生産草地への転換を進める事業の推進指導を行った。
事務取扱 24 地区
- (14) 草地難防除雑草駆除対策事業 [H28 年度分]（日本草地畜産種子協会/委託 9,866 千円）
[H29 年度分]（日本草地畜産種子協会/委託 301 千円）
自給飼料基盤に立脚した安定的な畜産経営の実現を図るため、難防除雑草の繁茂した生産性の低い草地から高位生産草地への転換を進める事業の推進指導を行った。
事務取扱 [H28 年度分] 55 地区 [H29 年度分] 54 地区
- (15) 放牧畜産実態調査事業（日本草地畜産種子協会/委託 1,546 千円）
放牧畜産を推進するため、優良事例の調査、放牧畜産推進上の課題の抽出及びその対応策の検討等を実施した。
現地調査件数 16 件
- (16) 畜産近代化リース貸付指導等事業（畜産近代化リース協会/委託 3,807 千円）
畜産近代化リース事業による貸付機械の適切な管理を図るため、現地調査指導を行った。
調査指導 33 基
- (17) 地域経済状況調査事業（北海道農業公社/委託 2,668 千円）
酪農経営等の経済状況等の調査を行い、地域・規模別の経営類型資料を作成した。
調査地域 4 地域（遠軽地域 他）
- (18) 自給飼料改善指導事業（ホクレン農協連・北海道農業公社・雪印種苗/負担金 1,350 千円）
近年の草地における様々な課題に取り組むため、関係団体により設置した「北海道自給飼料改善協議会」と連携して、自給飼料基盤の向上及び改善のため研修会を開催した。
自給飼料生産優良事例発表会の開催 1 回（札幌市）
自給飼料改善協議会セミナーの開催 1 回（札幌市）

8 北農ビル賃貸事業

北農ビルの一部所有者として、北農ビルの管理運営を行った。

第3 会議等の開催

1 総 会

平成 29 年度 通常総会

平成 29 年 6 月 27 日

〔議 事〕

議案第 1 号 平成 28 年度事業報告及び決算報告等について

議案第 2 号 平成 29 年度役員報酬について

議案第 3 号 平成 29 年度会費負担額及び納入について

議案第 4 号 役員改選について

報 告 事 項 平成 29 年度事業計画及び収支予算について

2 理 事 会 — 議決事項及び報告事項 —

〔第 1 回〕

平成 29 年 4 月 18 日

① 役員推薦会議における推薦委員の選任について

〔第 2 回〕

平成 29 年 6 月 12 日

① 平成 29 年度通常総会の開催について

② 平成 29 年度通常総会の提出議案について

③ 会員の入会について

報 告 事 項 職務の執行状況について

〔第 3 回〕

平成 29 年 6 月 27 日

① 役付理事の互選について

〔第 4 回〕

平成 29 年 7 月 26 日

① 役員推薦会議における推薦委員の選任について

〔第 5 回〕

平成 29 年 11 月 20 日

① 会員の異動について

② 入会申込書及び退会届の制定について

③ 諸規程の一部改正について

報 告 事 項 平成 29 年度事業の実施状況等について

〔第 6 回〕

平成 30 年 3 月 26 日

① 平成 30 年度事業計画及び収支予算について

② 事務局組織の変更について

③ 永年勤続者の表彰について

④ 諸規程の一部改正について

⑤ 会員の入会について

報 告 事 項 農事組合法人 細澤牧場に係る民事再生について

3 専門委員会

家畜登録改良事業 和牛登録専門委員会 平成 29 年 9 月 29 日

- ① 平成28年度事業報告並びに平成29年度事業計画について
- ② (公社)全国和牛登録協会に係る総会・各種報告について
- ③ 第11回全国和牛能力共進会の報告について

家畜登録改良事業 和牛改良専門委員会 平成 30 年 3 月 15 日

- ① 北海道和牛改良推進目標の現状について
- ② 北海道推奨種雄牛について

4 監 査

[監事監査] 平成 29 年 6 月 1 日

平成29年度監事監査（平成28年度決算分）

[内部監査]

- | | | |
|-------|-------|-----------------|
| ① 第1回 | リース部 | 平成29年 5月23日、24日 |
| ② 第2回 | 総務部 | 平成29年 9月26日～28日 |
| ③ 第3回 | 事業推進部 | 平成29年11月28日、29日 |
| ④ 第4回 | 経営支援部 | 平成30年 3月 5日、 6日 |

第4 会員及び役職員数

[会 員]

項 目	28年度 期 末	29年度		29年度 期 末
		増	減	
会 員	201	7	2	206
団 体	52	3	1	54
農 協	85	—	—	85
市町村	64	4	1	67

[役職員]

項 目	28年度 期 末	29年度		29年度 期 末	摘 要
		増	減		
役 員	12	—	—	12	うち常勤理事1名
理 事	10	—	—	10	
監 事	2	—	—	2	
職 員	36	4	3	37	

事業報告の附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項はありません。